

南房総・館山地域公共交通活性化協議会の交通空白地対策実証事業について

8月2日に開催された標記の2市合同協議会会議において、交通空白地における移動手段を確保していくための実証事業として、下記2つの事業(案)を実施するという方向性について審議し、承認をいただきましたのでご報告します。なお、下記の神戸地区を中心とする実証事業につきましては、詳細が決まり次第館山市公共交通会議の場でもご審議いただく予定としています。

記

各事業についてはあくまでも案の段階であり、8月2日の合同協議会でも方向性について承認いただいたものです。今後、2市事務局において運行計画を定め、沿線地区との協議や各市公共交通会議や合同協議会での審議を経て、事業を実施する予定です。詳細については、別紙資料(合同協議会配布資料)もあわせてご覧ください。

平群線(館山駅～三芳病院前～滝田郵便局前～平群車庫)再編に向けた実証運行【概要】

- ・平群線の利用者が少ないことから、車両を小型化し、利用者がいる場合のみ運行するデマンド型の形態にする。
- ・ルートは、平群車庫～滝田郵便局前～三芳分庁舎～安房地域医療センターとし、三芳分庁舎で丸線(館山駅 丸・川谷方面：定時定運行路線バス)と接続させるとともに、安房地域医療センター通院者の利便性向上、医療センターにおける路線バス(館山鴨川線など)との接続も可能な限り考慮する。あわせて、ルート上の県道から外れた集落等への乗り入れも検討する。
- ・通勤通学の利用動向を把握するため、現在運行していない通勤通学時間帯に1往復、定時定路線のバスを設定する。
- ・期間は50日間程度を想定している。

神戸地区(一部西岬・富崎地区)における高齢者の買い物に特化した移動サービスの実証

【概要】

- ・神戸地区を中心に、バス路線から離れた地区に住む高齢者をターゲットとして、週に2回程度、おどや大神宮店又はイオンタウン館山へ買い物に行くためのワゴン車を運行する。
- ・地区を2つか3つのエリアに分け、曜日を変えて運行する。
- ・エリアを定めてのデマンド運行又は停車ポイントをあらかじめ決める定時定路線運行のいずれかの形態を検討している。
- ・実証段階から、有償による運送を行うことを想定している。
- ・期間は1か月程度とし、利用状況やニーズを見ながら本格運行の有無等を検討したいと考えている。